



平成25年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年5月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 梅の花

コード番号 7604 URL <http://www.umenohana.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 梅野 重俊

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長兼経営計画室長 (氏名) 上村 正幸

TEL 0942-38-3440

四半期報告書提出予定日 平成25年5月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年9月期第2四半期の連結業績(平成24年10月1日～平成25年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年9月期第2四半期	15,540	△1.6	465	9.5	348	△25.1	162	△56.2
24年9月期第2四半期	15,799	3.5	425	△5.8	464	32.8	371	—

(注) 包括利益 25年9月期第2四半期 182百万円 (△51.2%) 24年9月期第2四半期 373百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年9月期第2四半期	22.55	20.06
24年9月期第2四半期	52.61	—

(注) 当社は、平成25年4月1日を効力発生日として、普通株式1株を100株に分割し、1単元の株式の数を100株とする単元株制度を採用しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
25年9月期第2四半期	19,846	—	6,773	—	34.1	921.04
24年9月期	18,157	—	5,989	—	33.0	858.11

(参考) 自己資本 25年9月期第2四半期 6,773百万円 24年9月期 5,989百万円

(注) 当社は、平成25年4月1日を効力発生日として、普通株式1株を100株に分割し、1単元の株式の数を100株とする単元株制度を採用しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年9月期	—	0.00	—	500.00	500.00
25年9月期	—	0.00	—	—	—
25年9月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成25年4月1日を効力発生日として、普通株式1株を100株に分割し、1単元の株式の数を100株とする単元株制度を採用しております。なお、平成24年9月期の配当金については、当該株式分割が行われる前の金額を記載しております。

3. 平成25年9月期の連結業績予想(平成24年10月1日～平成25年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,556	△1.6	550	7.7	470	△15.7	250	△2.5	34.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成25年4月1日を効力発生日として、普通株式1株を100株に分割し、1単元の株式の数を100株とする単元株制度を採用しております。これに伴い、平成25年9月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式分割の影響を考慮した金額を記載しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年9月期2Q	7,489,200 株	24年9月期	7,114,700 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

25年9月期2Q	135,400 株	24年9月期	135,400 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年9月期2Q	7,224,100 株	24年9月期2Q	7,066,818 株
----------	-------------	----------	-------------

(注) 当社は、平成25年4月1日を効力発生日として、普通株式1株を100株に分割し、1単元の株式の数を100株とする単元株制度を採用しております。
これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、平成25年5月13日付にて、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 当社は、平成24年11月14日開催の取締役会において、株式の分割及び単元株制度の採用について決議し、平成25年4月1日を効力発生日として普通株式1株を100株へ分割し、単元株式数を100株といたしました。これに伴う平成25年9月期配当予想及び連結業績予想については、該当項目をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(6) セグメント情報等	10
(7) 重要な後発事象	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、政権交代を機に輸出環境の改善や経済対策及び金融政策の効果等を背景に景気回復へ向かうことが期待されているものの、欧州財政危機や新興国経済の減速等の影響により不透明な状況が続いているといわれている中で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは前期に引き続き「思い立ったら即実行 実行力が会社を変える」を経営方針として、お客様に感極まるサービスを提供できるように取り組んでまいりました。

販売強化策といたしましては、店舗責任者によるお客様へのご挨拶、ご来店頂いたお客様への手書きによるお礼状の送付及び近隣の企業への訪問営業活動を行っております。また、「餃子」に続く商品といたしまして「豚しゅうまい」、「海老しゅうまい」等を開発し、売上の増加を図っております。

また、当社は11月にエイチ・ツー・オー リテイリング株式会社との資本・業務提携契約を締結し、同社を割当先とした第三者割当による新株式の発行及び無担保転換社債型新株予約権付社債の発行をいたしました。資本・業務提携により、エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社及びそのグループ会社の強みである財務体質や販売力と当社の強みである商品開発力及び商品の供給体制等を融合することで、両社の企業価値を向上できるものと考えております。

店舗の出店及び閉店につきましては、外食事業3店舗出店及び1店舗閉店、テイクアウト事業7店舗出店及び6店舗閉店により、当第2四半期連結会計期間末の店舗数は259店舗となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高155億40百万円（前年同期比98.4%）、営業利益4億65百万円（前年同期比109.5%）、経常利益3億48百万円（前年同期比74.9%）、四半期純利益1億62百万円（前年同期比43.8%）となりました。

なお、セグメント別の状況は次のとおりであります。

(外食事業)

前期に引き続き、テレビコマーシャルを重要な広告媒体としてとらえ、シリーズ化しております。

また、お客様に最上のサービスを提供できるように、定期的にテーマを決めて顧客満足度向上活動（KKS活動）を行っております。

経費の削減につきましては、前期に引き続き人件費コントロールに重点を置き、人員配置や勤務シフトを見直すことで、サービス水準を落とすことなく人件費を削減し利益率の向上に努めております。

出店及び閉店につきましては、梅の花は2月に「福山店（広島県）」を移転のため閉店し、3月に新たに「福山店（広島県）」を出店し68店舗、チャイナ梅の花4店舗、かにしげ3店舗、その他店舗は、10月に「花小梅久留米店（福岡県）」、3月に「花小梅春日店（福岡県）」を出店し4店舗となりました。

従いまして、外食事業の全店舗数は79店舗、売上高は98億73百万円（前年同期比98.3%）、セグメント利益7億74百万円（前年同期比104.6%）となりました。

(テイクアウト事業)

古市庵テイクアウト店、梅の花テイクアウト店ともに、おせちの取り扱いを増やしており売上の拡大に努めております。

出店及び閉店につきましては、古市庵テイクアウト店は10月に「錦糸町テルミナ店（東京都）」、1月に「舞浜イクスピアリ店（千葉県）」、2月に「渋谷ヒカリエ ShinQs店（東京都）」、3月に「小田原西武店（神奈川県）」を出店、10月に「静岡松坂屋店（静岡県）」、1月に「呉そごう店（広島県）」、「沼津西武店（静岡県）」、2月に「徳山近鉄店（山口県）」、3月に「高輪京急店（東京都）」を閉店し135店舗となりました。

梅の花テイクアウト店は10月に「エキマルシェ大阪店（大阪府）」を出店いたしましたが、当初予想を大きく下回ったため3月に閉店し34店舗となりました。

その他店舗は10月に「うめだ阪急ヴェルコイチ店（大阪府）」、3月に「おしとり福山店（広島県）」を出店し、11店舗となりました。

従いまして、テイクアウト事業の全店舗数は180店舗、売上高は56億67百万円（前年同期比98.4%）、セグメント利益1億20百万円（前年同期比104.5%）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産につきましては、前連結会計年度末と比べ16億89百万円増加し、198億46百万円となりました。これは主に、現金及び預金が9億80百万円、季節要因により売掛金が1億61百万円、設備投資により有形固定資産合計が5億45百万円増加したことによるものであります。

負債の部につきましては、前連結会計年度末と比べ9億5百万円増加し、130億73百万円となりました。これは主に、無担保転換社債型新株予約権付社債の発行により社債が22億59百万円増加し、借入金の返済により借入金総額が14億86百万円減少したことによるものであります。

純資産の部につきましては、前連結会計年度末と比べ7億84百万円増加し、67億73百万円となりました。これは主に、第三者割当による新株式の発行により資本金が3億18百万円、資本剰余金が3億18百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成24年11月14日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年10月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ11,655千円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,684,430	2,664,579
売掛金	1,283,412	1,445,151
商品及び製品	60,976	66,972
原材料及び貯蔵品	164,563	184,579
繰延税金資産	236,201	166,405
その他	442,446	512,415
貸倒引当金	△1,758	△1,658
流動資産合計	3,870,272	5,038,445
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,501,732	6,899,579
機械装置及び運搬具（純額）	125,513	205,671
土地	4,636,426	4,636,426
建設仮勘定	8,523	809
その他（純額）	515,335	590,180
有形固定資産合計	11,787,532	12,332,666
無形固定資産		
のれん	578,161	520,345
その他	63,955	58,038
無形固定資産合計	642,117	578,384
投資その他の資産		
投資有価証券	54,457	75,548
長期貸付金	77,568	83,796
繰延税金資産	23,416	21,976
敷金及び保証金	1,651,177	1,664,907
その他	140,430	141,666
貸倒引当金	△89,843	△90,872
投資その他の資産合計	1,857,207	1,897,022
固定資産合計	14,286,858	14,808,073
資産合計	18,157,131	19,846,518

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	584,153	670,829
短期借入金	2,000,000	1,600,000
1年内返済予定の長期借入金	2,423,786	1,738,737
未払金	1,488,794	1,590,705
未払法人税等	39,200	50,100
賞与引当金	235,200	241,200
ポイント引当金	139,145	142,364
その他	616,990	602,833
流動負債合計	7,527,269	6,636,769
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	—	2,259,675
長期借入金	3,703,634	3,301,898
退職給付引当金	155,712	103,987
資産除去債務	612,635	629,561
その他	168,871	141,513
固定負債合計	4,640,854	6,436,635
負債合計	12,168,124	13,073,404
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,804,852	4,123,177
資本剰余金	3,181,841	3,500,166
利益剰余金	△749,023	△621,035
自己株式	△238,011	△238,011
株主資本合計	5,999,658	6,764,297
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△5,925	13,542
為替換算調整勘定	△4,725	△4,725
その他の包括利益累計額合計	△10,651	8,816
純資産合計	5,989,007	6,773,114
負債純資産合計	18,157,131	19,846,518

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)
売上高	15,799,937	15,540,775
売上原価	4,596,181	4,617,579
売上総利益	11,203,755	10,923,195
販売費及び一般管理費	10,778,325	10,457,282
営業利益	425,430	465,912
営業外収益		
受取利息	2,281	2,245
受取配当金	865	907
受取手数料	17,263	12,068
デリバティブ評価益	101,755	—
雑収入	14,905	15,307
営業外収益合計	137,070	30,528
営業外費用		
支払利息	61,921	45,018
株式交付費	—	34,651
社債発行費	—	32,111
雑損失	36,090	36,341
営業外費用合計	98,012	148,122
経常利益	464,488	348,319
特別損失		
固定資産除売却損	6,531	68,749
減損損失	775	6,902
特別損失合計	7,306	75,651
税金等調整前四半期純利益	457,181	272,667
法人税、住民税及び事業税	14,380	38,545
法人税等調整額	70,984	71,236
法人税等合計	85,365	109,782
少数株主損益調整前四半期純利益	371,816	162,885
四半期純利益	371,816	162,885

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	371,816	162,885
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,525	19,468
その他の包括利益合計	1,525	19,468
四半期包括利益	373,342	182,353
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	373,342	182,353
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成24年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年10月1日 至 平成25年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	457,181	272,667
減価償却費	480,876	472,472
減損損失	775	6,902
のれん償却額	57,816	57,816
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△4,900	6,000
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△8,273	△51,725
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	4,462	928
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	6,178	3,218
受取利息及び受取配当金	△3,146	△3,152
支払利息	61,921	45,018
固定資産除売却損益 (△は益)	6,531	68,552
デリバティブ評価損益 (△は益)	△101,755	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△186,023	△161,739
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△34,845	△26,012
仕入債務の増減額 (△は減少)	117,315	86,676
その他	81,780	△95,059
小計	935,895	682,563
利息及び配当金の受取額	1,220	1,375
利息の支払額	△61,403	△44,015
法人税等の支払額	△27,594	△28,554
営業活動によるキャッシュ・フロー	848,117	611,368
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△93	△72
有形固定資産の取得による支出	△183,985	△857,710
有形固定資産の売却による収入	—	1,271
無形固定資産の取得による支出	—	△1,974
有形固定資産の除却による支出	△5,994	△29,334
投資有価証券の取得による支出	△1,207	△1,231
資産除去債務の履行に伴う支出	△27,700	—
貸付けによる支出	—	△6,340
貸付金の回収による収入	106	109
敷金及び保証金の回収による収入	54,072	14,216
敷金及び保証金の差入による支出	△6,350	△26,169
その他	6,164	△1,366
投資活動によるキャッシュ・フロー	△164,989	△908,601

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成24年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年10月1日 至 平成25年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	300,000	△400,000
長期借入れによる収入	1,100,000	500,000
長期借入金の返済による支出	△1,081,086	△1,586,785
転換社債型新株予約権付社債の発行による収入	—	2,227,563
株式の発行による収入	—	601,998
自己株式の取得による支出	△238,011	—
リース債務の返済による支出	△28,771	△29,513
割賦債務の返済による支出	△1,777	△1,417
配当金の支払額	△34,552	△34,538
財務活動によるキャッシュ・フロー	15,801	1,277,308
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	698,929	980,075
現金及び現金同等物の期首残高	1,480,020	1,356,307
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,178,950	2,336,383

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成24年12月3日付で、エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社から第三者割当増資の払込を受けました。この結果、当第2四半期連結会計期間末において資本金が4,123,177千円、資本剰余金が3,500,166千円となっております。

(6) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間（自 平成23年10月1日 至 平成24年3月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	外食事業	テイクアウト事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,042,226	5,757,710	15,799,937	—	15,799,937
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,668	23,055	27,724	△27,724	—
計	10,046,894	5,780,766	15,827,661	△27,724	15,799,937
セグメント利益	740,652	115,282	855,935	△430,504	425,430

(注) 1 セグメント利益の調整額△430,504千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

なお、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間（自 平成24年10月1日 至 平成25年3月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	外食事業	テイクアウト事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,873,243	5,667,531	15,540,775	—	15,540,775
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,278	18,605	23,884	△23,884	—
計	9,878,522	5,686,136	15,564,659	△23,884	15,540,775
セグメント利益	774,641	120,489	895,130	△429,217	465,912

(注) 1 セグメント利益の調整額△429,217千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

なお、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(7) 重要な後発事象

当社は、平成24年11月14日に開催いたしました取締役会の決議に基づき、平成25年4月1日付で、株式分割、単元株制度の採用及び定款の一部変更を実施いたしました。

(1) 株式分割、単元株制度の採用及び定款の一部変更の目的

全国証券取引所が公表した「売買単位の集約に向けた行動計画」の趣旨に鑑み、当社株式の売買単位を100株とするため、株式を分割するとともに単元株制度の採用をいたしました。なお、本株式分割及び単元株制度の採用に伴う投資単位の実質的な変更はありません。

(2) 株式分割の概要

① 分割の方法

平成25年3月31日を基準日（実質的には平成25年3月29日）として、同日最終の株主名簿に記載または記録された株主が所有した当社株式を、1株につき100株の割合をもって分割いたしました。

② 分割により増加する株式数

株式分割前の発行済株式総数	74,892株
今回の分割により増加した株式数	7,414,308株
株式分割後の発行済株式総数	7,489,200株
株式分割後の発行可能株式総数	20,700,000株

③ 分割の日程

基準日	平成25年3月31日（実質的には、平成25年3月29日）
効力発生日	平成25年4月1日

(3) 単元株制度の採用

① 新設する単元株の数

単元株制度を採用し、単元株式数を100株といたしました。

② 新設の日程

効力発生日	平成25年4月1日
-------	-----------